



あふれる愛に…… 『あいこうか』市民憲章碑 除幕式



▲水口庁舎前での除幕式

▲中嶋市長から感謝状を受ける検討委員会のメンバー

11月20日(月)、水口庁舎玄関前で甲賀市市民憲章碑の序幕式が行われました。
「あいこうか」で親しまれている甲賀市市民憲章が制定されました。この憲章碑は制定1周年を機に新しくしたもので、旧町民憲章碑に信楽焼の陶板へ文字を焼き付けたものです。除幕式には市民憲章検討委員会のメンバーが出席し、除幕を行った後、中嶋市長から同委員会へ感謝状が手渡されました。また、各支所にあった旧町民憲章碑も同様に新しくなる予定です。
市民憲章の中には甲賀市の将来像がたくさん込められています。みんながこの憲章を胸により良い甲賀市を創り上げていきましょう。

東海道五十三次 水口宿・土山宿の

浮世絵看板が リニューアル



▲宮木教育長から感謝状を手渡される近藤夫妻

▲新しくなった浮世絵看板(水口中部コミュニティセンター前)

11月24日(金)三重県鈴鹿市にお住まいの近藤初雄さん・芳子さんご夫妻により東海道五十三次の浮世絵を描いた看板(水口宿・土山宿)を新しくしていただきました。

この両看板は1999年に近藤夫妻に設置いただいたもので今回のリニューアルにあわせ宮木教育長から感謝状が手渡されました。

初雄さんは美術工芸家として活躍され、10年ほど前から自分の腕が衰えないようにと東海道五十三次の浮世絵を看板に描き、これまでに約30の宿場町にご夫婦で設置されてこられました。

新しくなった浮世絵看板は今後も東海道を歩く方々の疲れを癒してくれることでしょう。



11月26日(日)水口商工祭の特設会場で行われました。少し肌寒い天候となりましたが、土俵の上では元気な児童たちが熱戦を繰り広げ、会場を盛り上げてくれました。
試合ではまわしをつかんで持ち上げたり、体重差のある児童の足を絡めて倒したり、また土俵際で残ったりと本物顔負けの試合の連続に、来場者から大きな声援が送られていました。

わんぱく相撲に 会場から 大歓声

第4回 わんぱく相撲 水口場所



▲熱戦が繰り広げられたわんぱく相撲水口場所

皆さんの作品を
展示します!

市民 ギャラリー開催

押し絵
盆栽
写真等



▲押し絵を寄贈いただいた古河さん



▲市民ギャラリーに展示された押し絵作品

土山支所では毎月市民ギャラリーとして、押し絵、盆栽、写真等の皆さんの作品を展示しています。

11月は、伝統工芸悠弘流押し絵クラブの作品を展示しました。

悠弘流押し絵クラブは水口中央公民館を中心に押し絵を通して友達づくり、仲間づくりをしておられます。展示いただきました水口町在住の古河芳子さんから市へ土山にちなんだ「東海道五十三次之内土山春之雨」を寄贈いただきました。この作品は、東海道伝馬館に展示させていただきます。

今後のご活躍を期待しています。

●1月から右記のとおり展示が始まります。展示発表を励みにされておられますので、ぜひ皆さんもこの機会にご鑑賞ください。

義援金

宮崎県台風13号被害義援金
4件 9,862円

ご協力ありがとうございました。皆さんからお寄せいただいた善意は、日本赤十字社滋賀県支部を通じて現地の救援活動に使用されます。

寄附

福祉事業のために
ラブリー土山ミュージック会員様
30,000円

ご厚意に感謝しますとともに大切に使用させていただきます。

国際交流の輪広がる

国際交流フェスタ2006



▲琴の音色が響くジャパンプース

市内におられるたくさんの外国籍の方々とお互いの国を知る体験を通じて今後もより一層国際交流を進めていきましょう。



▲ステージ上でのバンド演奏

12月10日(日)、忍の里プララで「国際交流フェスタ2006」が行われました。これは甲賀市国際交流協会が外国や日本文化にふれ、言葉をお互いに交流の場をもってもらおうと毎年開いているものです。会場内のステージではハンドベルやバンド演奏、姉妹都市であるマリーシャル市・利川市・トラバースシティ市への中学生海外交流事業を終えた生徒からの帰国報告などがありました。またブラジルや台湾、フィリピンなどの国別ブースが設けられ各国の食べ物の販売や、日本文化を体験するジャパンプースなどがあり、お茶や琴・着物の着付けコーナーが設けられました。この日は同時に「第4回世界まなびじゅく2006」世界の味はどんな味」として市内の小中学生がフェスタに出店されている各国の食べ物をその国の言葉を使い買いに行き体験講座も行われました。